



東広島市立原小学校 第6学年 学級通信 11月7日

☆ 道徳参観日ありがとうございました ☆

11月1日(水)に道徳参観日がありました。ご多用の中、足を運んでいただきありがとうございました。

授業では、小学校5年生で病気のために亡くなった宮越由貴奈さんが病気との闘いで感じたことをまとめた「命」という詩を通して考えました。その「命」という詩にはたくさんの夢を抱き精一杯生きている中、命が奪われたり失われたりする報道を見聞きし、「生きてくても生きられない人がいるのになぜ」という憤りとともに、精一杯生きたい、生きようとする本人の思いがつづられています。子どもたちは授業を通して、命は何にも代えられないかけがえのない大切なものであることに改めて気付きました。授業の感想には次のようなことを子どもたちはノートに書いていました。

- ・命は無駄にしてはいけないほど大切に私は自分の命の充電が切れるまで精一杯生きたいと思いました。
- ・生きてくても生きられない人がいることを知った。自分はその人の分まで命を大切にがんばって生きていきたい。
- ・少しくらいつらいことがあってもすぐにあきらめずがんばれるようになりたい。

限りある命を懸命に生きることの尊さを考えてくれたようでした。これからも家族や仲間とのつながりを大切にしながら自分や他者の命を大切にしていってほしいと思います。

